

～志布志港国際物流ターミナル 岸壁延伸着工式を開催しました～

志布志港湾事務所は鹿児島県との共催により、平成31年3月16日(土)に「志布志港国際物流ターミナル岸壁延伸着工式」を開催しました。

近年、志布志港では、コンテナ取扱量と航路便数の増加に伴い、既存岸壁(延長280m)ではコンテナ船2隻が同時に接岸出来ず、船舶の沖待ち(滞船)が生じるなどの非効率な荷役が発生しており、その機能強化が喫緊の課題となっていました。

本岸壁延伸事業は、当事務所が岸壁延伸(80m)を、県が背後のふ頭用地の整備を実施するもので、本事業の完了によりコンテナ船2隻の同時接岸が可能となり、志布志港の南九州地域のコンテナ物流拠点としての機能強化が実現します。

当日は、国会議員をはじめ県や志布志市の議員の方々、志布志市長や近隣自治体の首長、関連事業者など、関係者74名の皆様にご臨席いただき、事業着工を祝いました。

志布志港と南九州地域が更なる発展を遂げるよう、地元の皆様の協力を仰ぎながら、当事務所としても岸壁延伸事業に全力で取り組んで参ります。



式辞を述べられる三反園知事



セレモニーの様子



事業の概要